



第4期 第2四半期決算説明会

株式会社C&Gシステムズ
代表取締役社長
山口 修司



目次

1. 第4期 第2四半期連結累計期間 業績
2. 第4期通期業績予想
3. 参考資料
 - ・ グループ概要
 - ・ マーケット概況

第4期 第2四半期連結累計期間業績


第4期第2四半期連結累計期間 決算概要

- 自動車関連や家電、精密機器等の最終製品メーカーの生産が伸びる中、国内金型業界は前年同期よりもさらにマイナス10%程度で推移、回復の遅れが目立ち、依然として厳しい状況が継続。
- その結果、当第2四半期売上高は前年比+7.6%で推移
- 売上原価の減少および販管費削減があったものの、売上減少をカバーできず、営業損益、経常損益とも若干の赤字。
- ただし昨年来の経営合理化の効果により、前年同期と比較し大幅に経費削減、赤字幅は減少
- 特別利益:貸倒引当金戻入額 17百万円計上を含め当四半期利益は6百万円の黒字

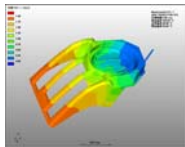
CGS

2010年の上半期トピックス(活動状況)

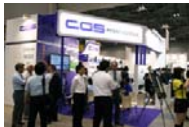
- 1月 ● 当社による連結子会社2社の吸収合併
- 2月 ● 「CGSキック・オフフォーラム」を全国で開催(2月中旬～3月初旬)
当社の新体制、方向性、研究開発への取り組み、各種ソリューションについて説明
- 3月 ● 「CAM-TOOL Version6」
主要工具メーカーの参考切削条件の
ダウンロードが可能に
加工工程の設定作業を容易にするとともに、
より正確な干渉チェックを可能とする
- 4月 ● 「INTERMOLD2010」(大阪)
● 「NeoSolid」金型設計者向けの
樹脂流動解析オプション搭載
東レエンジニアリング社製の
樹脂流動解析ソフトウェア「TMD-FLOW」の
ソルバーを採用し、オプションとして販売を開始
- 6月 ● 「設計・製造ソリューション展」(東京)



CAM-TOOL
工具メーカーの参考切削条件選択画面



NeoSolid
樹脂流動解析オプション画面



設計・製造ソリューション展

株式会社C&Gシステムズ 5

CGS

連結損益計算書(予想比)

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 決算 【実績】	2010年 2/19 発表 【予想】	予想比		予想比 主な内訳
			増減額	増減率	
売上高	1,452	1,594	△142	△8.9%	金型関連業の回復の遅れから予想を下回り△142
売上原価	482	583	△101	△17.3%	付加価値率の高い商品の売上減少が目立ち△101
販管費	992	1,014	△21	△2.1%	経費削減努力により予想より若干減
営業損益	△23	△3	△19	—	仕入原価および販管費減少に伴い△23に止まる
経常損益	△4	4	△8	—	営業外損益+18より、赤字幅減少
四半期 純利益	6	3	+2	+55.4%	貸倒引当戻入額+17により黒字幅拡大

株式会社C&Gシステムズ 6

連結損益計算書(前年同期比)

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 決算 【実績】	2009年 第2四半期 決算 【実績】	前年同期比		前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
売上高	1,452	1,349	+103	+7.6%	金型関連業の回復が遅れているもの の若干改善、+103
売上原価	482	403	+78	+19.6%	売上増に伴う仕入原価増+78
販管費	992	1,247	△254	△20.4%	経営合理化に伴い人件費△168、賃 借料△41で赤字が大幅に縮小
営業損益	△23	△302	+278	—	
経常損益	△4	△289	+285	—	営業外損益+18より、赤字幅減少
四半期 純利益	6	△263	+270	—	貸倒引当戻入額+17により黒字幅拡 大

株式会社C&Gシステムズ

7

連結セグメント売上(会社 所在地別)

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 決算 【実績】	2009年 第2四半期 決算 【実績】	前年同期比		前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	1,299	1,169	+130	+11.1%	
国内(CGS)	1,237	1,095	+142	+13.0%	高い水準ではないものの改善が見 られ+142
北米(GP CANADA)	29	32	△3	△10.6%	金型分野の回復遅く、設備投資意 欲も依然として低調、△3
アジア(GP ASIA)	32	40	△8	△21.8%	金型分野の回復遅く、設備投資意 欲も依然として低調、△8
金型製造事業	153	179	△26	△15.0%	
北米(Tritech LLC)	153	179	△26	△15.0%	第2四半期に予定していた売上のず れ込み、為替の影響等により△26
合計	1,452	1,349	+103	+7.6%	

※売上高は、内部取引等相殺後の数値を合計しております。

株式会社C&Gシステムズ

8

CGS

連結セグメント売上(仕向地別)

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 決算 【実績】	2009年 第2四半期 決算 【実績】	前年同期比		前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	1,299	1,169	+130	+11.1%	
国内	1,120	1,036	+83	+8.1%	アジア向けの割合が高まり、前年同期比2ポイント減少
北米	30	33	△3	△11.0%	金型分野の回復遅く、設備投資意欲も依然として低調、△3
アジア	147	97	+50	+51.7%	アジア向け直販および国内販売の海外納入分がともに増加、+50
その他	0	0	△0	△50.7%	
金型製造事業	153	179	△26	△15.0%	
北米	153	179	△26	△15.0%	第2四半期に予定していた売上のずれ込み、為替の影響等により△26
売上高合計	1,452	1,349	+103	+7.6%	

※売上高は、内部取引等相殺後の数値を合計しております。

株式会社C&Gシステムズ

9

CGS


連結セグメント営業利益

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 決算 【実績】	2009年 第2四半期 決算 【実績】	前年同期比		前年同期比 主な内訳
			増減額	増減率	
CAD/CAM事業	177	△274	+452	—	売上増及び経営合理化・拠点統合に伴う販管費大幅削減により+452
金型製造事業	5	25	△20	△80.2%	売上の減少および利益率が高い業務の減少により△20
計	182	△248	+431	—	
消去又は全社	△206	△53			
合計	△23	△302	+278		

株式会社C&Gシステムズ

10




連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 【実績】	2009年 第4四半期 【実績】	前期末比 増減額	前期末比 主な内訳
流動資産	2,830	3,180	△350	現金及び預金△519、受取手形及び売掛金+232
固定資産	1,319	1,270	+49	保険積立金+34、工具器具備品+24、建物△9
資産合計	4,149	4,450	△301	
流動負債	1,251	1,469	△218	未払金△198、短期借入金△49、買掛金+36
固定負債	813	820	△7	長期借入金△55、退職給付引当金+27、長期リース債務+21
負債合計	2,064	2,290	△226	
株主資本	2,074	2,147	△73	自己株式△79、利益剰余金+6
評価・換算差額等	△17	△15	△2	為替勘定調整勘定△2
少数株主持分	28	27	+0	
純資産合計	2,085	2,160	△75	
負債純資産合計	4,149	4,450	△301	

株式会社C&Gシステムズ

11



連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 【実績】	2009年 第2四半期 【実績】	前年 増減額	2010年第2四半期 主な内訳
営業活動による キャッシュ・フロー	△274	△48	△225	売上債権の増減額△233 未払金の増減額△199、
投資活動による キャッシュ・フロー	△52	△41	△10	保険積立金の積立による支出△34 敷金及び保証金の差入による支出△17
財務活動による キャッシュ・フロー	△189	162	△352	長期借入金の返済による支出△84 自己株式の取得による支出△79
現金及び現金同等物に係る 換算差額	△3	8	△12	
現金及び 現金同等物の増減	△519	81	△601	
現金及び 現金同等物の期首残高	2,566	2,929	△362	
現金及び 現金同等物の期末残高	2,047	3,011	△964	


株式会社C&Gシステムズ

12

第4期通期業績予想

2010年下半期以降の取り組み(国内)


- **当社ブランド浸透への活動をさらに強化**
 - ◆ 上期に出展したイベントでの顧客フォローアップ強化
 - ◆ 旧子会社2社の既存商品のデータ互換性を強化しCADとCAMの連携を向上
 - ◆ JIMTOF2010(日本工作機械見本市)に出展、旧子会社2社の統合新商品を参考出品
- **保守の新規加入率／更新率の向上**
 - ◆ 旧子会社2社の相互技術の共有によりサポート体制のクオリティを向上
- **OEM製品の販売強化と横展開**



2010年下半期以降の取り組み(海外)

- 海外ニーズに合わせた製品の開発を推進
 - ◆価格面、操作面で海外の金型メーカーのニーズを反映
- 生産管理分野の製品販売強化
 - ◆中国等アジア地域での販売を強化
- パッケージ製品だけでなく、「カスタマイズ」「ソリューション」での案件増加を目指す
- 金型用以外の分野での製品展開(部品加工、医療等)
 - ◆今秋医療系パブリックショーに出展、精密加工分野での活用を提案
 - ◆部品加工分野での同時5軸CAM活用を提案

株式会社C&Gシステムズ 15



第4期連結通期業績予想

通期業績予想を変更せず

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 決算 【実績】	2010年通期 連結業績予想		2009年 連結業績 【実績】	2010年予想—2009年実績 比較	
		2010年 2月19日 【予想】	構成比		増減額	増減率
売上高	1,452	3,171	100.0%	2,488	+682	+27.4%
営業利益	△23	24	0.8%	△639	+663	—
経常利益	△4	38	1.2%	△601	+640	—
当期純利益	6	26	0.8%	△1,248	+1,275	—

株式会社C&Gシステムズ 16

連結セグメント売上予想(会社所在地別)

連結セグメント売上予想を変更せず

(単位:百万円)

科目	2010年 第2四半期 決算 【実績】	2010年 通期決算 【予想】	2009年 通期決算 【実績】	2010年予想—2009年実績 比較	
				増減額	増減率
CAD/CAM事業	1,299	2,842	2,258	+583	+25.8%
国内(CG S)	1,237	2,667	2,127	+539	+25.4%
北米(GP CANADA)	29	69	59	+9	+16.0%
アジア(GP ASIA)	32	105	71	+34	+48.1%
金型製造事業	153	328	230	+98	+42.9%
北米(Tritech LLC)	153	328	230	+98	+42.9%
合計	1,452	3,171	2,488	+682	+27.4%

※売上高は、内部取引相殺後の数値を合計しております。

参考資料

(1)グループ概要

会社概要



商号	株式会社C&Gシステムズ(JASDAQ 6633)		
事業内容	金型用CAD/CAMシステム、生産管理システム等の開発、販売、サポート		
本社所在地	(東京本社) 東京都渋谷区恵比寿一丁目19番15号 (北九州本社)福岡県北九州市八幡西区引野1丁目5番15号		
設立年月日	2007年7月2日	決算期	12月末日
資本金	5億円	発行済株式総数	(普通株式) 11,982,579株
純資産	20億85百万円	総資産	41億49百万円
主要株主	株式会社アーク、株式会社エムワイ企画、山口修司、日本生命相互会社、C&Gシステムズ従業員持株会、株式会社トール社、竹田和平、株式会社兼松ケージーケイ、株式会社西日本シティ銀行、ロイヤルバンクオブカナダ		
役員構成	代表取締役社長	山口 修司	
	取締役	塩田 聖一	
	取締役	寺崎 和彦	
	取締役	伴野 裕之	
	取締役(社外)	九鬼 祐一郎	
	常勤監査役(社外)	山田 英雄	
	常勤監査役	佐藤 淳	
	監査役(社外)	笠長 正	

株式会社C&Gシステムズ

19

当社の強み



1. 金型分野に幅広く対応

モデルデータ構造	2次元、3次元
対応領域	試作、プレス、プラスチック、部品 等
型の大きさ	微細加工から大物加工まで

2. 7,000を超えるユーザ数

- 国内外で約7,000社の企業に当社のシステムが導入
- スケールメリットを活かすことが可能

3. 国産メーカーであることの強み

- 国内で開発・販売・サポートを行っているため、お客様の要望を直接、研究開発部門にフィードバック

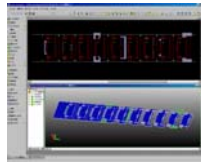
株式会社C&Gシステムズ

20

当社製品のご紹介(CAD/CAMソリューション)



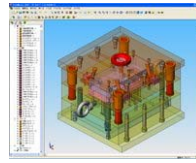
EXCESS-HYBRID



金型向けハイブリッドCAD/CAMシステム

EXCESS-HYBRIDは、立体モデルと図面を融合させることにより、2次元・3次元の概念を超えて「良いものを、より早く、より正確にカタチにできる」自由度の高い操作性と適応力を備えたハイブリッドモデルの2次元・3次元融合CAD/CAMシステムです。

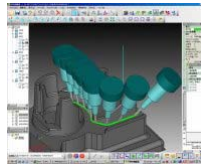
NEO SOLID



金型向け3次元CAD/CAMシステム

NeoSolidは、ミッドレンジ3次元モデラーの「SolidWorks」に金型専用モジュールを組み込むことにより、金型立体設計～図面作成、さらに立体モデル～NCデータ作成まで完全にフォロースするオールインワンモデルの3次元統合型CAD/CAMシステムです。

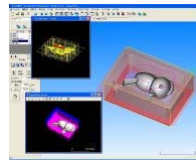
CAM-TOOL



金型向け多軸加工CAMシステム

CAM-TOOLは、ハイブリッドCAMエンジン(ポリゴン演算、サーフェース演算)を搭載し、高硬度材への直彫りをはじめ、様々な加工において高品位かつ高効率な切削を実現する5軸制御マシニングセンター対応ハイエンドCAD/CAMシステムです。

CraftMILL



試作向け多軸加工CAMシステム

誰でも簡単に扱えることをコンセプトに開発した、超簡単・高精度3D CAMです。工具・材料設定のデータベースを搭載しているため、加工条件を選択していくだけの簡単作業で、初心者でも導入後すぐに加工が可能です。

当社製品のご紹介(生産管理ソリューション)



A|Q



金型向け生産管理支援システム

CADの設計情報と工程計画を連携させることにより、計画立案、実績収集、原価計算までをフォローし、進捗と実績の「見える化」を推進する、CAD/CAM連携モデルの金型用工程管理システムです。

e-Karte



金型品質傾向管理システム

e-Karteは、プレス金型による量産製品のロット数および良品数、不良数、トライ数を蓄積し、問題が発生した金型のメンテナンス履歴をデータベース化することで、不良の原因、ミスの要因を予測し、製品歩留まりの向上を支援します。

参考資料

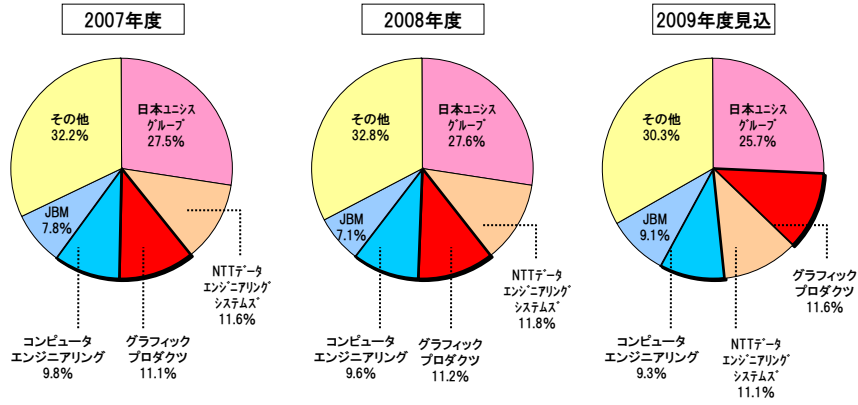
(2) マーケット概況

金型設計用CAD/CAMメーカー別集計

システムメーカー名	2007年度	2008年度	前年比	2009年度見込	前年比
日本ユニシスグループ	4,400	4,300	97.7%	3,800	88.4%
NTTデータエンジニアリングシステムズ*	1,860	1,840	98.9%	1,650	89.7%
グラフィックプロダクト	1,780	1,753	98.5%	1,723	98.3%
コンピュータエンジニアリング	1,560	1,490	95.5%	1,370	91.9%
JBM	1,250	1,100	88.0%	1,350	122.7%
セイロジャパン	810	900	111.1%	880	97.8%
丸紅情報システムズ	750	700	93.3%	500	71.4%
ヴェロ・ジャパン	600	650	108.3%	650	100.0%
三菱電機*カトロクスソフトウェア	613	457	74.6%	562	123.0%
セスクワ	610	625	102.5%	530	84.8%
ゼネテック	410	380	92.7%	360	94.7%
OpenMind	400	450	112.5%	500	111.1%
DPテクノロジー	300	350	116.7%	360	102.9%
Delcam	330	330	100.0%	290	87.9%
トヨタケーラム	221	179	81.0%	205	114.5%
アルゴグラフィックス	100	90	90.0%	80	88.9%
合計	15,994	15,594	97.5%	14,810	95.0%

(出典) 矢野経済研究所「2009年度版CAD/CAM/CAEシステム市場の中期展望」

金型設計用メーカー別シェア

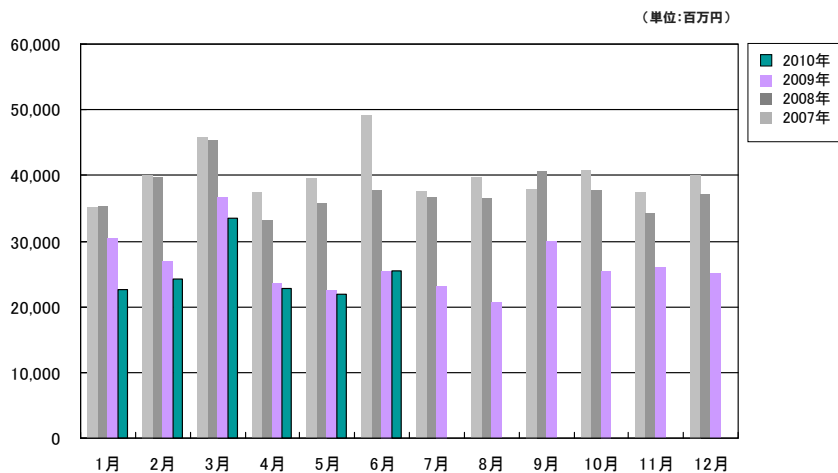


(出典) 矢野経済研究所「2009年度版CAD/CAM/CAEシステム市場の中期展望」
 ※当社が2010年1月1日付で吸収した旧子会社は「コンピュータエンジニアリング」および「グラフィックプロダクツ」

株式会社C&Gシステムズ

25

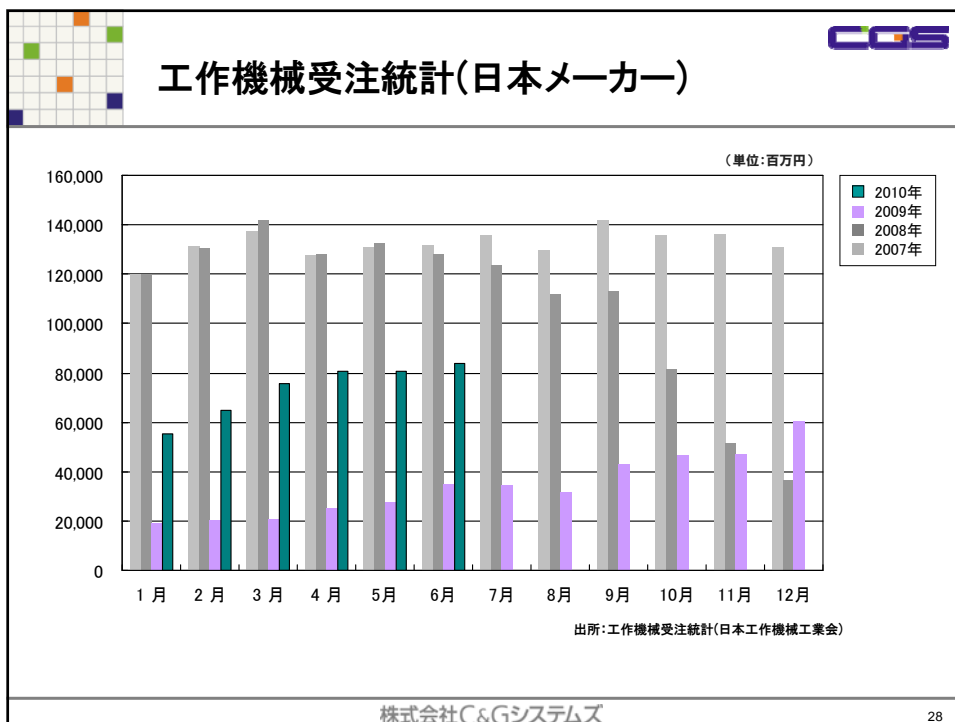
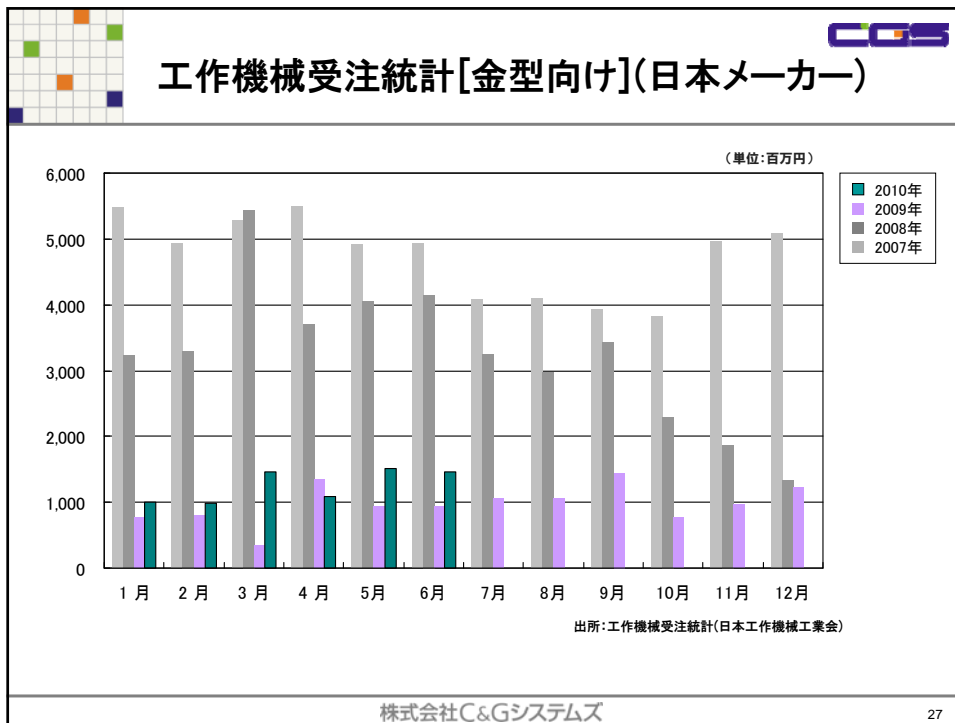
国内金型生産額

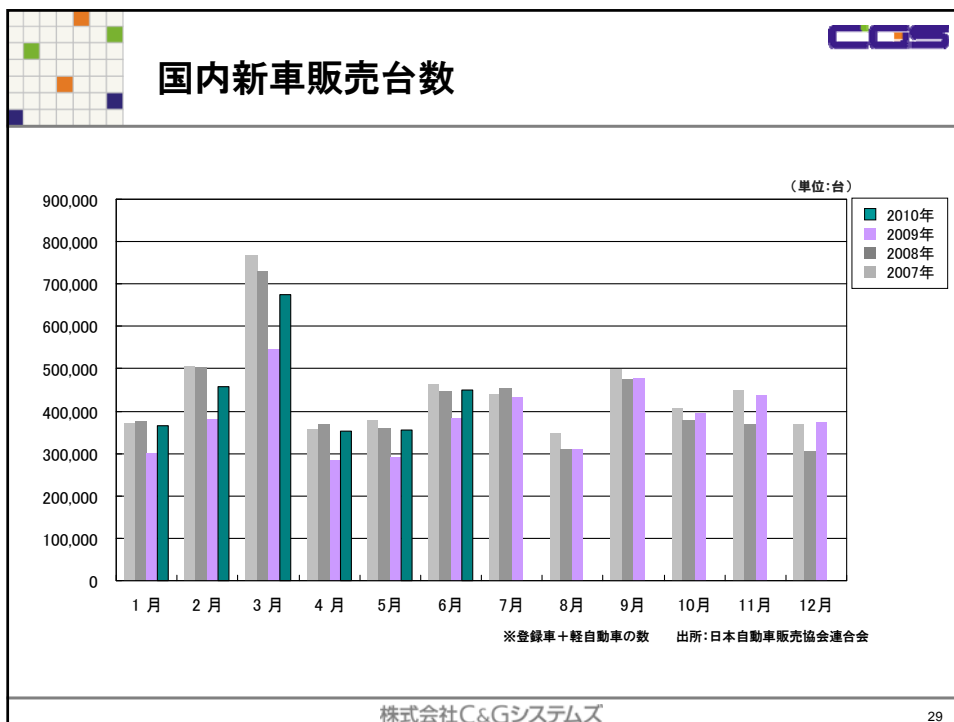


出所: 機械統計
 ※本調査は従業員数20名以上の企業が対象、約600社が参加

株式会社C&Gシステムズ

26





CGS

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したのですが、その正確性を保証するものではありません。また業績予想は、2010年8月25日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

(お問合せ先)
株式会社C&Gシステムズ 管理統括部 IR室 Tel:03-5793-8800 E-mail:cgs_ir@cgsys.co.jp

株式会社C&Gシステムズ